2011年~2013年度 中期経営計画の概要

2011年2月3日

SENSHUKAI CO., LTD.

Copyright SENSHUKAI Co., Ltd. All Rights Reserved.



※ アジェンダ

千趣会グループ成長戦略、成長イメージ

- 1. "新しいベルメゾン"の創造
 - ❖ 原点回帰と変化への対応
 - ❖ ベルメゾン事業方針と目指すもの
- 2. ネット事業の強化
 - ❖ ベルメゾン事業のネット強化
 - ❖ その他ネット事業の強化
- 3. ブライダル事業の拡大
- 4. 2011年~2013年度計画
 - ◆ 連結、単体、ベルメゾン売上計画
 - ❖ 2013年度連結損益計画

※ 2011~2013年度 千趣会グループ成長戦略

1. "新しいベルメゾン"の創造

カタログ販売、ネット販売、商品開発に機能を分離し、ネット販売強化、商品開発力強化により売上拡大を図ります

2. ネット事業の強化

ベルメゾンネットとは異なる専門店型ECサイトを複数育成し売上拡大を図ります

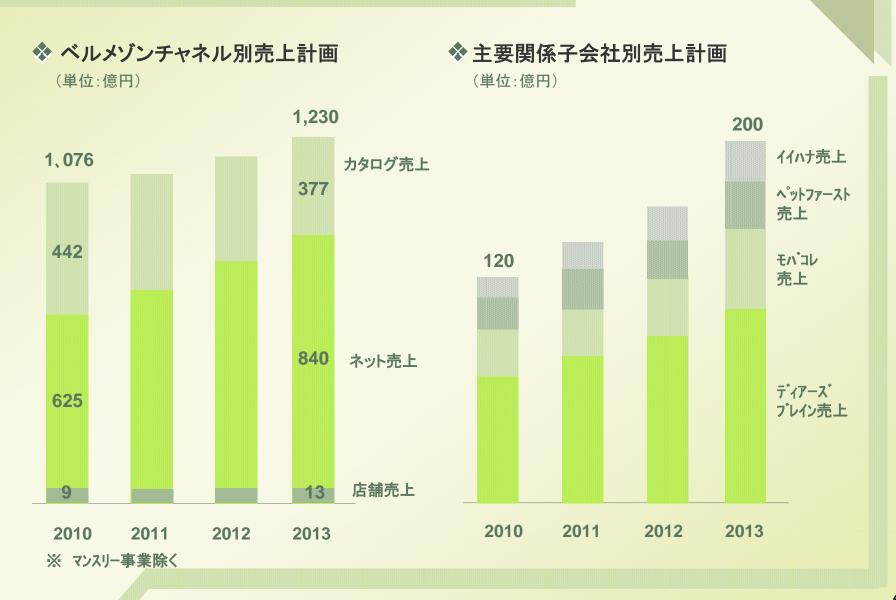
3. ブライダル事業の拡大

ディアーズ・ブレインの積極新規出店、MUSUBIやベルメゾンウェディングの強化により売上拡大を図ります

4. 高品質でローコストな事業運営の実施

グループ全体が原点に立ち返り、お客様に満足を感じていただける取組みを 行い、市場変化に耐えうるローコストな事業運営をグループ全体で実施

※ 2011~2013年度 千趣会グループ成長イメージ



1. "新しいベルメゾン"の創造

※ 原点回帰

- ◆ 顧客(女性)を想い、変化に気づき、サービスを通して新たなライフスタイルを提案し続ける
- ❖ 商品の目利き力、オリジナル商品を開発する力、サービスを開発 する力
- ◆ 顧客にとって必要であると思われる存在

※ 変化への対応

- ❖ 顧客(女性)の変化をいち早く察知し、他社に先駆けた対応
- ❖ 変化の激しいネット通販市場において、ネット通販利用顧客の多様 なニーズへのすばやい対応
- ◆ 一社単独でネットサイトを運営している強み、自社で商品開発できる 強みを活かした事業の展開

※ ベルメゾン 事業方針と目指すもの

ベルメゾン事業 5つの方針



- 1. ベルメゾンネットの拡大
- 2. 商品力の強化
- 3. 集客戦略の見直し
- 4. カタログの再編成
- 5. 顧客サービスの付加価値向上

オリジナルで旬な品揃えで独自のポジションを築く

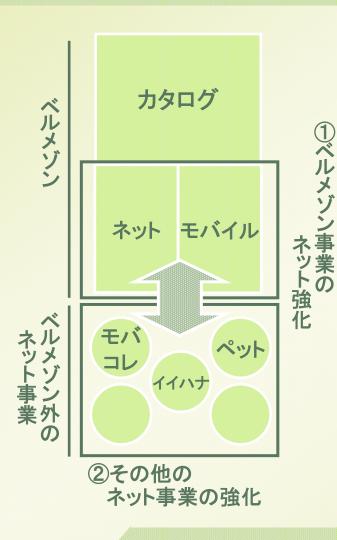
生活提案を実現するための商品厳選力を持つ

「好品質×好価格」が高い価値として理解される

フレンドリー&ホスピタリティな人柄をもった存在になる

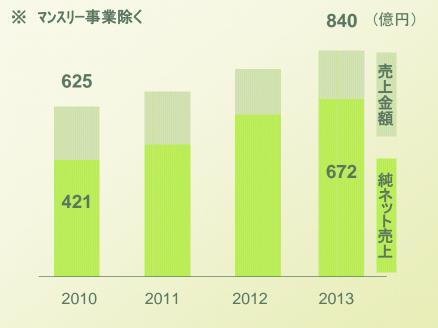
2. ネット事業の強化

※ ベルメゾン事業のネット強化



- ❖ ベルメゾン事業のネット強化(純ネット強化)
- ❖ ベルメゾンとその他ネット事業のシナジー確保 (ベルメゾンネット全体としての価値向上)

❖ ベルメゾン事業ネット売上



※ その他ネット事業の強化

専門店型ECサイトを複数育成し、グループ全体の売上利益の拡大に貢献



◆ PC・モバイルの両チャネルを駆使したファッション ブランドECサイトとして拡大



◆ フラワーギフト専門のサイトから総合的なギフトEC サイトへ転換



◇「ペットファースト.jp」をペットのヘルスケアに特化した 付加価値型ECサイトに進化 リアル店舗との連係を強化し、収益性を向上

新規サイト

◆ 新たな専門店型ECサイトの新規開発

3. ブライダル事業の拡大

※ ディアーズブレインに投資を継続し、拡大する

<mark>"結婚"を、既存事業にとって重要な情報として戦略的に捉え、グループ内で連携</mark>

❖ 売上・営業利益・挙式組数



- ◆ 新婦および列席者へのベルメゾン カタログの配布等によるベルメゾン への送客
- ❖ MUSUBI(引き出物用ギフトカタログ)の商品力強化による販売強化
- ◆ "ベルメゾン・ウェディング"(結婚 式場紹介サイト)の充実により全 国の式場との関係性を強化

※ ディアーズブレイン店舗展開

2010年末12店舗(17バンケット)⇒2013年17店舗(27バンケット)



4. 2011年~2013年度計画

- ※ 連結、単体、ベルメゾン売上計画
 - ◆ 千趣会グループ連結売上・利益計画
 ◆ 千趣会及びベルメゾン売上計画



※ 2013年度 連結損益計画

(単位:億円)

	2010年 実績	2013年 計画	2010年 増減	2010年 増減率
❖ 売上高	1,369	1,600	+231	+16.9%
❖ 営業利益	34 (2.5%)	64 (4.0%)	+30	+88.2%
❖ 経常利益	32 (2.3%)	64 (4.0%)	+32	+100.0%
❖ 当期利益	20 (1.5%)	38 (2.4%)	+18	+90.0%